

令和4年度学校関係者評価（最終報告書）

室戸市立佐喜浜小学校

教育方針：ふるさとに誇りを持ち、未来を切り拓く力と人間力を備えた子どもの育成
学校目標：自立・共生・貢献・ふるさと創造～自分・仲間・ふるさと まるごと大好き さきはまっ子～
本年度重点目標：学び続ける力・人間力の向上 読書・コミュニケーション力・情報収集・選択・処理能力の向上
研究主題 見通しを持ち、主体的に学び深め合う児童の育成
国語力・納得発見深い学びにつながる「対話」や「ゆさぶり」「切り返し」のある授業

評価規準 A「満足」 改善に向けた取り組みが効果的に成果を上げている。
B「やや満足」 課題はあるが、改善に向けた取り組みが成果を上げつつある。
C「やや不満」 通常求められる学校運営がおおむねなされているが、さらに改善に向けた取り組みに期待したい。
D「不満」 改善に向けた取り組みが出来ていないか、成果を上げていない。

項目	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み	具体的な到達目標（評価項目）	自己評価	根拠（成果・課題→改善策）	学校関係者 評価
（知） 確かな学力	①問題解決能力 ②子どもが自らすすんで行う授業。 （セルフLESSン・進化型スタンダードコンバクト版作成・実施） ③家庭学習の大切さを知り、毎日確実に行う。 休日の家庭学習をきちんと。 ④読む・書く・読書習慣が身につく ④「話し言葉からの学力向上」をテーマに敬語を意識的に使わせる。 ⑤ICT（タブレットやデジタル教材）を使った授業を取り入れる ⑥外国語「これだけはENGLISH」作成・習熟 ⑦学力個人カルテを使い、各児童の学力向上にいかす	①教員の授業力向上 講師を招いた授業研究会（西留先生・小堀アドバイザー他） ①児童にわかりやすい授業づくりに取り組む。 【佐喜浜小授業進化型スタンダード】 1 前の時間の復習 2 今日の学習を知る 3 自分で考える→友だちと考える 4 自分のことばでまとめる 5 先生からポイントを聞く 6 授業をふりかえる ②一人ひとりを大切にした授業 ・学力調査から子どもの力を知る。・放課後学習 ③「家庭学習の手引き」を活用する。 ③ 家庭学習講演会を開く（地域学校協働本部・PTA）を開く。 ④「週末作文（漢字1枚学年×10）」 1 枚段階替え2～3継続 ④「読み切り読書」「親子読書」をすすめる。 ④読書時間を増やし、言葉の数を増やし、本のすばらしさを知る児童の育成。 ④「話し言葉からの学力向上」を日ごろの生活や学習に定着させる。 ⑤タブレットが使えるように朝学習時間にタイピング練習を組み入れる。 Jamboard（意見交流アプリ）を使った公開授業を行う。 ⑥外国語「これだけは ENGLISH」を作成し、単元ごとに習熟チェックを行う。 ⑦佐喜浜小版 学力個人カルテ 作成	①「佐喜浜授業スタンダード」に沿い学び方統一。ノートや板書、すすめ方（シラバス）の統一。 ①セルフLESSン型公開授業を年間6回以上。 ①児童が考えたいくなるような課題を提示し、児童自らが見通しを持って考え、より具体的に深い学びにつながる授業改善を行う。改訂した授業評価、授業参観シートで授業力を向上させる。 ②全国学力・学習状況調査の問題で学校の平均が全国の平均を3ポイント以上、県版学力調査で4・5年生の60%以上が県平均以上。 ②考える力の問題、文で答える問題の正答率50%以上 ③学校評価児童アンケートで「2.あなたは授業の内容が分かりますか」「7.あなたは友達との話し合いで分かったり、新しいことを発見したりすることがありますか」の肯定的評価を90%以上にする。 ④90%以上の子どもが家庭学習を毎日提出。週末作文の実施 各学年年間30回以上音読カードの実施 ④読書時間毎日10分以上100% 15分以上80% 本選ひと読み切ることの大切さを指導する。名前のよびきりはしない。90%以上遊びの中で、きたない言葉を使わない。80%以上読書アンケート「読書が好きである」90%以上「自主学習ノート（予習ノート）コンテスト」を毎月行う。 ⑤Jamboard（意見交流アプリ）を使った公開授業各学年1回以上。 ⑥単元ごとに習熟チェックの実施 ⑦佐喜浜小版「学力個人カルテ」で分析会実施。	B	先進校視察（越知小・中）・講師招聘研修実施 ①「佐喜浜授業スタンダード」に沿って学び方の統一はできている。 ①リーダーを中心に児童主体、全員参加のセルフLESSン型（サイレントLESSン）の公開授業を年間6回授業行うことができた。 ② 改定した授業評価表を用いながら、保小中で確認し合えている。 ②全学調全 国比 国+5.4、算+19.8、理+12.7 県版学調全国比 → 4年 -8.9 5年 -6.2 （教科平均） ②記述式問題正答率 50%以上は達成できていない。 全国学調 国1／3問、算4／4問、理1／3問 →▽ 県版学調 4年国0／3問、算0／2問 →▽ 5年国0／3問、算0／2問、理1／3問 →▽ ②学校評価児童アンケート 2の項目 87.1% →▽ 7の項目 87.1% →▽ ④90%以上の児童が家庭学習を毎日提出 94%→○ 週末作文○、音読カード△、コンセント学習における音読チェック○ ④読書時間 10分以上 100%、15分以上 81%→○ 読書アンケート「読書が好きである」91%→○ 名前のよびきりをしない・きたない言葉 一部児童ができていない 自主学習ノートコンテストは毎月できていない。学期に1回→▽ ⑤Jamboard を使った公開授業を実施できた。 ⑥単元チェックテスト、佐喜浜版ことばの力検定、佐喜浜計算検定を実施し、習熟度をチェックしている。 ⑦個人カルテを作成して共有し、分析を行った。来年度に引き継ぐ予定。	A・B・C・D 講評 確かな学力づくりに向け、さまざまな取組が行われ、着実に力を伸ばしている様子が見える。佐喜浜スタンダード（子ども主体＋教師の適切なアドバイス）によるわかりやすい授業も継続して進められている。また公開授業等では、児童が自信を持って発言し、互いに学び合う姿も見られる。「未来を切り拓く力と人間力を備えた子ども」の目標に近づくために必要な教科の学力の定着に向けて、学校が一つになって取り組まれている。しかし、まだまだこれから伸びる要素を持つ子どもたちばかりである。長所を伸ばし、苦手な部分もすすんで頑張ろうとするような支援を続けていただきたい。そのために具体的な対策を考え、実行し、埼玉県版学力調査等において、個々の伸びを実感できる次年度にしていだきたい。特に、作文力・読書量増には注力してもらいたい。・
	①自分が役立っていると思う心や役立つことができるという感覚を高める。 ②行きたい学校行かせたい学校をつくり、不登校〇 不登校傾向〇を続ける。 ③ルールを守り、みんなと仲良く過ごしながら、目標に向かってがんばろうと思い、行動できるようなサポートを行う。 ④ふるさと佐喜浜への感謝と愛と誇りを持つ児童を育てる。 ⑤リーダー学・組織論を学ぶ。	①豊かな心を育てる教育を進める。 ・道徳参観日、人権参観日、考え、話し合う道徳。 ②講師をまねいて、支援の必要な子への接し方を学んだり、「校内支援委員会」で、対応の仕方を話し合ったりする。 ②生徒指導の三機能を生かした授業。 ※自己存在感・・・大切な存在 自己決定・・・他の事を考えながら、自分で決める 共感的理解・相手を人間として温かく受け容れる ③キャリア教育（あしあとを見つめ、仕事を通じ社会に役立つ人間作り）の推進 ・あいさつ上手・達人・名人への取組 ④県指定「中山間における特色ある学校づくり推進事業」佐喜浜ふるさと創造学習。 ふるさと創造に関する授業を行う。 ・さきらぶ10 2022版をつくる（佐喜浜じまん） ⑤校長室だよりや佐喜浜 OJT 冊子によって、学び合う。	①児童アンケート（QU）「あなたは運動や勉強でクラスの人からすごいと言われることがありますか良い評価 95%以上 ①道徳アンケート「自尊感情」に関わる項目「自分には良いところがある」の良い評価95%以上。 ②「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」95%以上 ②不登校〇 不登校傾向〇 校内支援委員会 開催10回以上 ③ふりかえりシート・キャリアパスポート年各自それぞれ3枚以上記載。 ③人権教育参観日 道徳参観日 開催 ④「ふるさとが好き、大事にしたい」90%以上 ④佐喜浜小で学ぶことがうれしいと思ってもらえるように、「さきらぶ10 2022版」をみんなで作り、自分を大切に思う心や自分と同じように相手を大事にする心を育てたり、「人権の花運動」に取り組んだりして、人権感覚を高める。 ④「佐喜浜を楽しい町にしよう」「佐喜浜を住みたい町にしよう」をゴールにした探求学習をすすめる。（アンケート大人になっても・・・肯定的評価 90%以上） ④ あいさつの達人30%以上（10人以上） さきらぶ七夕集会、さきらぶクリスマス集会を行う。	A	①QUアンケート「あなたは運動や勉強でクラスの人からすごいと言われることがありますか」良い評価96%以上。 ①道徳アンケート「自尊感情」に関わる項目の「自分には良いところがある」は良い評価が93.5%で1回目と比較し2回目は6ポイント上。 ②相手の立場に立って行動できる力の育成に取り組む。 QUアンケートを実施（5月、10月）し、学校生活満足群80%以上達成。 ②不登校〇不登校傾向〇。是永先生を招き個別支援法研修年間2回実施。校内支援委員会 開催10回以上達成。 学校生活アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」100%達成。 ②人権教育参観日 10月14日（金）人と地球の参観日として開催。1月27日（金）道徳参観日開催。 ③ふりかえりシート・キャリアパスポート年間3回記載。 ④佐喜浜をテーマにした指定研究の成果で、郷土愛向上「ふるさとアンケート」の「佐喜浜が好きで大事にしたいですか」肯定的評価100%「大人になっても佐喜浜で暮らしたいですか」96% ④児童が「さきらぶ10 2022版」を作成し児童玄関に掲示。 ④佐喜浜ふるさと創造学習プラン年間計画に沿って実践。 5・6年 佐喜浜・室戸の魅力を発信しよう 2年 佐喜浜町探検 1年 お手伝い大作戦 3・4年 佐喜浜山の学習 ④ あいさつの達人30%以上（10人以上）達成。 ④ 7月7日さきらぶ七夕集会。12月21日さきらぶクリスマス集会。 ⑤校長室だより100枚以上発行。佐喜浜 OJT 冊子を作成し職員会において毎回OJTに関わる提案実施。	学校関係者 評価 A・B・C・D 講評 各種調査から、子どもたちが安心して学校に通学していることがわかる。小さなトラブルがあるとは言え、情報共有をしっかりと行い、早期に発見し、解決してくれている。それが学校の安定につながっているのであろう。特に「いきいきスタンダード」「さきらぶ10」「共育参観日」などの佐喜浜独自の教育活動は、自分を大切にする心や思いやりの心につながっている。またさまざまな行事や活動に、児童は自信を持って向かっている。挨拶も元気にしてくれる。中山間指定事業の発表では、ふるさとに誇りを持ち堂々と発言する児童の姿が見られ、郷土愛も育ちつつあることがわかる。今後もこれらの活動を継続していただきたい。

（体） 健やかな体	①体力を高める。 ②運動の大切さや楽しさを知り、運動好きな子どもを育てる。 ③毎日きちんとした生活ができる。 ④通信機器との上手な付き合い方を身に付ける	①体育の時間にしっかり動ける。 ・体育の時間の一人の運動量20分以上。 ① 朝の体幹トレーニングタイム。 柔軟性・握力の向上の継続的实施 ②体育集会・ゲーム集会等を楽しく。 ②外遊びをすすめる。 ②体育行事で力を伸ばす。 水泳大会・運動会・マラソン大会 ① 生活習慣向上にかかわる講師を招いた研修会を開く ・保健・家庭科の授業や集会やおたより、掲示物で毎日の生活の積み重ねが健康と深く関係しているということをわかってもらう。 ・ 脳内ホルモンと睡眠と学習効率が深くつながっていることを知らせる。 ・腸内環境改善につながる食事情報の提供 ・ ぐっすりすいみんと朝食おかず3色運動 ② <u>脳内ホルモンとゲーム障害の関係を教える</u> <u>佐喜浜 CE ルールをみんなで守る。</u>	①体力テストで全て、県・全国平均を3P以上上回る。 ①佐喜浜アンケート「体育の時間、体を動かしている。」90%以上。 ②体育保健アンケート「体育の授業は楽しい」「外遊びを積極的に・・・」95%以上。 ②体育保健アンケート「毎日60分以上、運動を・・・」の良い評価100% ③栄養教諭が給食の指導を行う。食と生活一覧表を作成、配布。 ③生活習慣向上にかかわる講師を招いた研修会を開く ③すいみんが8時間未満が、週1日以上の児童5%以下。 ③生活運動習慣等の調査「早寝、早起き、朝ごはん、ぐっすりすいみんができている」よい評価 95%以上 ④「スマホやゲーム、テレビを含めたスクリーンタイムが毎日90分以内、休日180分以内」「ゲーム平日60分以内休日90分以内」できているという評価 90%以上。	B	体幹トレーニング・体育的行事による体力向上 いきいきスタンダード周知・実践 ① 体力テスト 県・全国平均を各項目すべて上回る。 ① 体育保健アンケート「体育の時間、体を動かしている。」100% ② 体育保健アンケート「体育の授業は楽しい」「外遊びを…」96.3% ② 体育保健アンケート「毎日60分以上、運動を…」の良い評価100% ③ 食生活の充実のため「さきはまいききカード」で1週間良い生活習慣を意識づけるようにすすめた。その結果、朝食3色は前年度平均53%が今年度は平均59%と改善したが、目標値の70%にはまだ届いていない。睡眠については、1学期73%2学期86%3学期88%で、目標値95%を上回することはできなかったが、改善傾向にある。 ④「スマホやゲーム、テレビを含めたスクリーンタイムが毎日90分以内、休日180分以内」「ゲーム平日60分以内休日90分以内」できているという評価は、93%で目標値の90%を上回った。	<table><tr><th>学校関係者 評価</th></tr><tr><td>A・B・C・D</td></tr><tr><th>講評</th></tr><tr><td>さまざまな取り組みにより、アンケートや体力調査の数値は高くなっている。大多数は、外遊びや体育の授業を楽しめている。また学校全体がまとまって体力向上に向かうことで、心身ともに健康な子どもが育っている。しかし時おり、しんどそうな子もいる。子どもたちの力を伸ばすにはある程度の負荷も必要であろうが、その加減を考え、各取り組みを進めてもらいたい。 生活習慣に向上については、目標数値の設定が高く、達成されていない項目もあるが、経年比較をすれば、「朝食摂取率」「ぐっすりすいみん」の重要項目が改善傾向にある。佐喜浜保育所との連携の成果であると思われる。</td></tr></table>	学校関係者 評価	A・B・C・D	講評	さまざまな取り組みにより、アンケートや体力調査の数値は高くなっている。大多数は、外遊びや体育の授業を楽しめている。また学校全体がまとまって体力向上に向かうことで、心身ともに健康な子どもが育っている。しかし時おり、しんどそうな子もいる。子どもたちの力を伸ばすにはある程度の負荷も必要であろうが、その加減を考え、各取り組みを進めてもらいたい。 生活習慣に向上については、目標数値の設定が高く、達成されていない項目もあるが、経年比較をすれば、「朝食摂取率」「ぐっすりすいみん」の重要項目が改善傾向にある。佐喜浜保育所との連携の成果であると思われる。
	学校関係者 評価									
A・B・C・D										
講評										
さまざまな取り組みにより、アンケートや体力調査の数値は高くなっている。大多数は、外遊びや体育の授業を楽しめている。また学校全体がまとまって体力向上に向かうことで、心身ともに健康な子どもが育っている。しかし時おり、しんどそうな子もいる。子どもたちの力を伸ばすにはある程度の負荷も必要であろうが、その加減を考え、各取り組みを進めてもらいたい。 生活習慣に向上については、目標数値の設定が高く、達成されていない項目もあるが、経年比較をすれば、「朝食摂取率」「ぐっすりすいみん」の重要項目が改善傾向にある。佐喜浜保育所との連携の成果であると思われる。										
①地域とのつながりを大事にして、協力してもらう ② 佐喜浜保小中連携強化推進委員会(佐喜浜スクールモデル)を活用し、学習生活行事他の系統的な指導をすすめていく ③防災・安全教育をすすめる。	① 佐喜浜コミュニティースクールをスタートさせる ①学校だより、校長室だよりや保健だよりなどで、生活のしかたと勉強が関係しているということを知らせ、協力を呼びかける。 ① 地域学校協働本部の組織が確立される年間計画がほぼ実施される（ 活動計画を実践に！ ）（4部会）。 ①参観日や学校の行事、地域の行事などで、信頼関係を深めて、地域とのきずなを強める。 ②保育園児と小学生の交流、中学校の先生が小学校の子どもたちを教える授業を増やす。 ②保小中の連携を強めて、子どものことや学習生活のこの話し合いを充実させる。 ②一日入学の実施 3回程度 ②スタートカリキュラムの見直し。 ②保小交流活動 中学校の小への乗り入れ授業、保小中の情報交換会を充実させる。 ③警察や補導センターとつながる。 ③室戸交通少年団活動をつづける。	①佐喜浜コミュニティースクールをスタート。 学校評価アンケート「学校は地域とつながることにここがけていますか」肯定的評価90%以上 ①参観日に、保護者や地域参加型の授業を行う。（達成率100%） (ア) 厳しい環境下の家庭との連絡を定期的に持つ。（訪問・連絡帳・電話・懇談会等） ②学校評価アンケート「園児・児童・生徒間、教員間の交流がさかに行われ、勉強の力の向上やふるさと愛の育成に生かされている。」（肯定的評価90%以上） ②研究部を同じにして連絡会を6回行い、研究報告会も実施。 ②保育体験や年長児の小中授業交流を行ったり、授業評価交流を行ったりする。 ③防災の授業を各学年年5時間以上行う。 ③防災訓練（ひなん訓練）年間3回以上行う。（ 地域合同年1回以上 ） ③ 学校評価アンケート「学校は、交通安全や校内生活の安全確保、防災教育に努めている」80%以上。	① 佐喜浜コミュニティースクールスタート 学校評価アンケート「学校は地域とつながることにここがけていますか」肯定的評価90%以上 ①学校だより（毎月発行）、校長室だより（120号）や保健だより（毎月発行）などで、生活のしかたと勉強が関係しているということを知らせ、協力を呼びかける。 ①参観日に、保護者や地域参加型の授業を行う。（達成率100%） ①厳しい環境下の家庭との連絡を定期的に持つ。（訪問・連絡帳・電話・懇談会等） ①地域学校協働本部 年間計画に沿って活動講演会2回開催（松尾氏 雫石氏） ②学校評価アンケート 「佐喜浜は、保育園小学校中学校の教育活動のスムーズな連携に取り組んでいますか。」肯定的評価80%以上（82%） ②3研究部で連絡会を6回行い、研究報告会も実施。 ③保育体験や年長児の小中授業交流（各学年1回以上）を行ったり、授業評価交流を行ったりする。 ③中山間における特色ある学校づくり推進事業による「ふるさと創造学習」において、1・2年生が「手作りおもちゃ〜ハッピーランドへようこそ〜」の交流学习を行った ③防災学習各学年5時間以上実施達成 食育学習各学年実施 達成 ② 安心・安全な学校づくり ③ 防災訓練（ひなん訓練）年間3回以上行うことができた。（地域合同ひなん訓練 年1回以上） ④ 防災の授業を各学年年5時間以上行つた。 危機管理マニュアルの内容の共通理解と見直し実施 ③交通安全日や交通安全運動週間の教職員の街頭指導 交通少年団を中心に毎月定期的に実施した ③学校評価アンケート「学校は、交通安全や校内生活の安全確保、防災教育に努めている」80%以上。	A	<table><tr><th>学校関係者 評価</th></tr><tr><td>A・B・C・D</td></tr><tr><th>講評</th></tr><tr><td>コロナ禍で、交流機械設定が難しい状況でありながらも、「命を守る・子どもの活動を守り、成長を保証する」という信念のもとに、地域連携を進め、着実な成果を残したことが、A 評価の大きな理由である。 地域の方を講師に迎えた授業や行事への等、保護者や地域が一体となって協力するしくみがしっかりと整えられており、地域の方々も喜ばれている。佐喜浜地域活性化の中心的存在となっている。 命や安全を守る取り組みでは、防災訓練や交通少年団活動等を通じ、学校ができるであろう全てのことを行ってくれていると感じる。 保小中の連携も、3年目を終え、確かな成果を残している。特に保小の交流授業では、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、事業自体が「ハッピーランド」であった。マンネリ化が心配されるが、自助努力を欠かさずに、より継続発展させ、学校力地域力を高めていただきたい。</td></tr></table>	学校関係者 評価	A・B・C・D	講評	コロナ禍で、交流機械設定が難しい状況でありながらも、「命を守る・子どもの活動を守り、成長を保証する」という信念のもとに、地域連携を進め、着実な成果を残したことが、A 評価の大きな理由である。 地域の方を講師に迎えた授業や行事への等、保護者や地域が一体となって協力するしくみがしっかりと整えられており、地域の方々も喜ばれている。佐喜浜地域活性化の中心的存在となっている。 命や安全を守る取り組みでは、防災訓練や交通少年団活動等を通じ、学校ができるであろう全てのことを行ってくれていると感じる。 保小中の連携も、3年目を終え、確かな成果を残している。特に保小の交流授業では、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、事業自体が「ハッピーランド」であった。マンネリ化が心配されるが、自助努力を欠かさずに、より継続発展させ、学校力地域力を高めていただきたい。	
学校関係者 評価										
A・B・C・D										
講評										
コロナ禍で、交流機械設定が難しい状況でありながらも、「命を守る・子どもの活動を守り、成長を保証する」という信念のもとに、地域連携を進め、着実な成果を残したことが、A 評価の大きな理由である。 地域の方を講師に迎えた授業や行事への等、保護者や地域が一体となって協力するしくみがしっかりと整えられており、地域の方々も喜ばれている。佐喜浜地域活性化の中心的存在となっている。 命や安全を守る取り組みでは、防災訓練や交通少年団活動等を通じ、学校ができるであろう全てのことを行ってくれていると感じる。 保小中の連携も、3年目を終え、確かな成果を残している。特に保小の交流授業では、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、事業自体が「ハッピーランド」であった。マンネリ化が心配されるが、自助努力を欠かさずに、より継続発展させ、学校力地域力を高めていただきたい。										

①肯定的評価 63%、否定的評価 7.4%、肯定否定判断できず 29.6%であった。

※①改善策：1 学期中にお子さんや保護者・地域の意見を広く聞く機会をもっと多く持つようにしていきたい。

①保護者参加型の授業達成率 100%はほぼ達成出来た。

※①改善策：保護者とともに学ぶ機会やお家の方の1日先生などを取り入れていく

①厳しい家庭との連絡は適宜行うことができた。

②「保小中連携」肯定的評価 66.7%、否定的評価 3.7%、肯定否定判断できず 29.6%であった。ある程度評価されたと感じている。

③ 防災授業、防災訓練 100%達成。

③「安全確保」肯定的評価 81.5%目標達成。

①②③「佐喜浜小の教育に満足していますか」

肯定的評価 74.1%、否定的評価 3.7%。肯定否定判断できず 22.2%

※①②③改善策：この設問が最重要である。次年度は知・徳・体・連携の各改善策を実行しながら、肯定的評価90%以上を確実に達成したい。

～国語力・納得・発見・深い学びにつながる「対話」や「ゆさぶり」「切り返し」のある授業～

①体力テストの結果では、県・全国平均を上回っていない学年がある。昨年度より改善傾向にはあるが、特に柔軟性に課題が見られる。

※①改善策：朝の運動や体育の時間の中で、継続してストレッチ等を取り入れていく。

①「体育の時間、体を動かしている」は、93.5%と体育の時間の運動量は確保できている。。

②前年度に遊具の整備等をしてくれたので、子どもが遊ぶ環境が整ったことも影響し、「体育の授業は楽しい」「外遊びを積極的に…」は90%以上の児童が肯定的評価をしていた。しかし、「毎日60分以上、運動…」においては、90.3%であった。

※②改善策：運動することの良さを啓発し、運動時間の確保を図る。

③給食指導はできた。食と生活一覧表も作成した。

③睡眠8時間未満が週1日以上あった児童は、5月の調査で23%、9月は19%であった。それを受け、2学期に睡眠指導を行い、1月には9%になった。

③保護者への学校評価アンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みへの肯定的評価は74%、ぐっすり睡眠の項目も74%であった。一方、児童へのアンケートでは96.8%が「できている」と回答している。

※③改善策：おうちの方の課題意識を児童の生活習慣改善へと繋げていきたい。

③1月の調査において、「スマホやゲームを含めたテレビの時間が毎日90分以内、休日180分以内」が守れている児童は77.4%であった。また、さきはまいききカードの結果では、ゲームの時間が1時間以内の児童が1学期は平日91%、休日80%、2学期は平日88%、休日71%、3学期は平日86%、休日66%であった。

※③改善策：家庭でスマホやゲームの時間を決めて守るために、おたよりや集会・学級指導の取り組み

等で継続的に呼びかけていく必要がある。佐喜浜ルールの作成をPTA等に働きかける。

①佐喜浜スタンダードと授業評価アンケートを改良し、見通しを持って課題解決に向かうことを意識させた。

①新しくした佐喜浜スタンダードを使った授業研究を1人年6回以上行うことができた。

①授業参観シートの作成をすることによって児童につけたい力を共通認識することができた。

②全国学力・学習状況調査では、目標達成には至らなかったが、全国平均より上回ることができた。県版学力調査は、目標達成に至らなかった。

②思考力問題正答率50%以上を達成できない時が多かった。

※②改善策：授業評価アンケートの結果を受け、授業でふりかえりをし、自分の考えを表現することができる授業設定を今後も引き続き行う。

③授業研究においては達成できたが、日々の授業ではあまりできなかった。

③家庭学習提出率85%以上達成。

家庭学習の手引きを作成し、保護者に懇談で配布をした。

③読書推進はしたが、目標設定に至らなかった。

※③改善策：読書改善対策として、毎日の時間の確保・図書環境の整備を行う。

③自主学习ノートの掲示は毎月行うことができなかった。

※③改善策：今後、定期的（毎月20日）に貼りかえ、呼びかけを行う。

①児童アンケート「人の役に立っている」100%「友達から認められている」83.9%

※①改善策：言葉の大切さや相手意識・仲間の大切さについて、学校の教育活動全体でしっかり指導を行いたい。

①児童アンケート「人が困っているときは、進んで助ける」96.8%

道徳アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」100%

②道徳アンケート「自尊感情」に関わる項目 肯定的評価 100%

③児童アンケート「佐喜浜が好き」肯定的評価 100%

年間を通しての各項目について改善、維持を図る取組（ホットハートキャンペーン、志集会、全校集会や学級会での話し合い活動、SCの活用、肯定的面談の実施など）の成果が現れている。

③さくらぼスローガンを作成したときには、委員会活動や児童会生徒会交流会等の場で発信をしたが、その後は具体的な取り組みができなかった。※③改善策：項目の見直し・目につく場所に掲示・集会等で集団作りの活動を仕組む）

2. 働き方改革の推進・現代的諸課題への対応教育

最終退校時刻19:00、遵守率80%以上。未達成（77%）

先進的な事例の共有や取組推進のための校内研修実施

年1回以上実施

環境教育を総合的な学習の時間に位置づけ、授業を行えた。

成果を学習発表会等で公開できた

4. 保小中連携・地域連携促進

保小中連携強化推進委員会（佐喜浜スクールモデル）主催の

佐喜浜スタンダード研修会・研究発表会開催（8月24日 12月16日）

5. ユニバーサルデザイン教育の推進

学校評価アンケート

「先生たちは、子どもたちの学習しやすい学校環境

・教室環境に 努めていますか。（清掃・整理整頓・掲示物等）」

肯定的評価90%以上(90%達成)

学校評価アンケート「学校は、お子さんや保護者・地域の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。」肯定的評価85%以上（ %）

管理職の授業巡回を午前と午後に1回ずつ行った後、指導助言を行った。

SDGs教育参観日を行うことができた。（9月30日

